

# ぬまた未来共創会議記録



ぬまた未来共創会議Vol.3定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり  
日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403

# ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403



## 会議の概要

### ぬまた未来共創会議

「ぬまた未来共創会議」は、持続可能な価値ある沼田市を市民の皆さんと「共創」(きょうそう)する沼田市の新しいチャレンジです。



#### 【ぬまた未来共創会議Vol.3】

定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

人と人とがつながり、相互に理解し合える沼田市を目指して

開催日時 令和5年4月5日（水）午後7時～ 場所 テラス沼田4階・防災会議室

参加申込 市ホームページからの申し込み、または沼田市企画政策課の窓口で配布している申込用紙で申し込み。（オンライン参加可）

対象者 市内に居住する人、市内に勤務する人、または市内に通学する人

【お問い合わせ】 沼田市総務部企画政策課  
Tel:0278-23-2111 Fax:0278-24-5179 Mail:kikaku@city.numata.lg.jp



お申し込みはこちら  
(沼田市HP)

## ぬまた未来共創会議Vol.3

テーマ 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

概要 すでに定住している人も移住してきた人も、それぞれの人と人とがつながり、相互に理解し合い、心豊かに暮らせる沼田市をつくり上げるために必要なことは何でしょうか。グループワークを通じてアイデアを出し合い、ぬまたの未来を創造するヒントを探します。

日時 令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分

場所 テラス沼田4階／防災会議室402・403

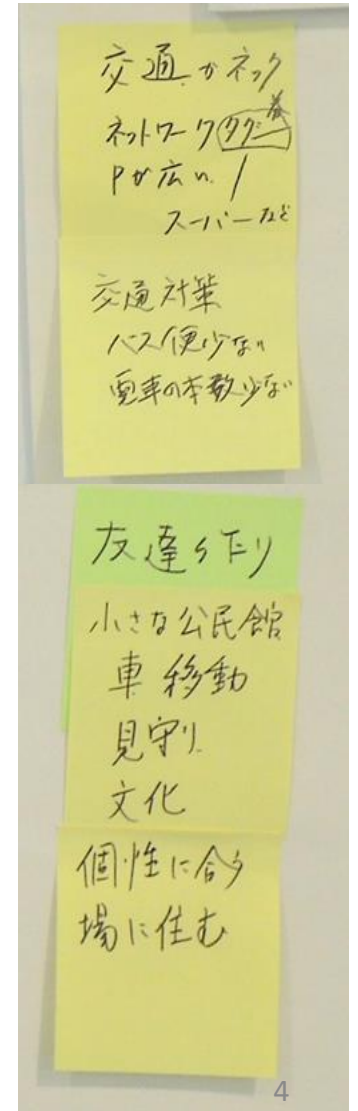
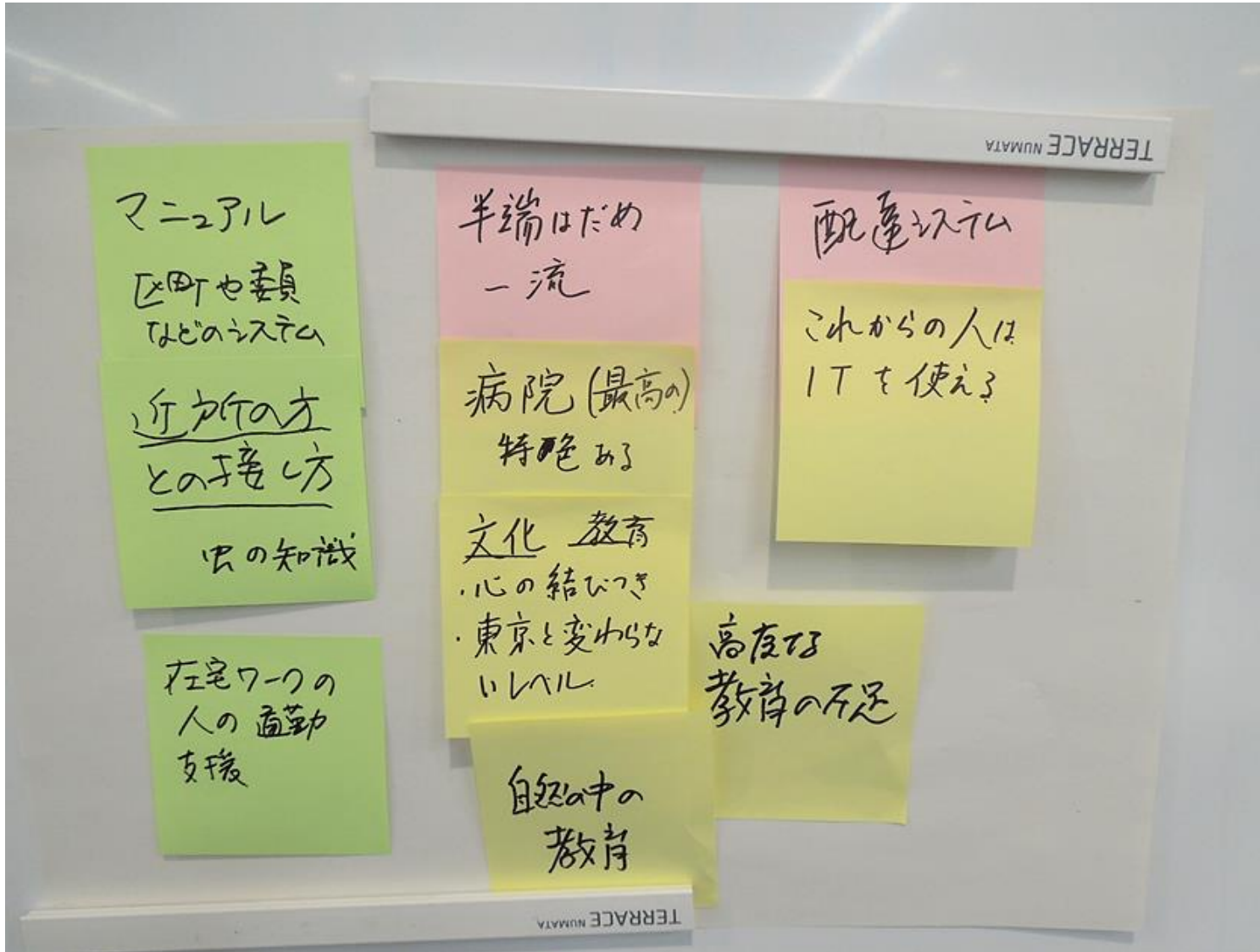
次第	内容
開会	会議の開始を宣言します。
挨拶	沼田市長 星野 稔
資料説明	本日の流れを説明するほか、関連するデータの紹介、テーマの提案者からテーマ選定の想いをお話いただきます。
グループワーク アイスブレイク	『「実は・・・」自己紹介』という特別な自己紹介を行います。
グループワーク 意見交換	ブレインストーミング形式（グループのメンバーで同じテーマについてアイデアをたくさん出し合うこと）でグループワークを行います。
各班発表	各班で出た意見の共有を行います。（質疑応答もあります）
市長所感	沼田市長 星野 稔
閉会	会議の終了を宣言します。

出席者 計18名（グループワーク参加者のほか運営、オブザーバー等含む）





グループ1ホワイトボード詳細







## グループ1のキーワード一覧

### 交通がネック

- ネットワークタクシー
- パーキングが広い
- タクシー券
- バス便少ない
- 電車の本数少ない

- 虫の知識
- 在宅ワークの人の通勤支援
- 半端はダメ
- 一流
- 特色ある病院（最高の）
- 配達システム
- これからの人はITを使える

### コミュニティ

- 友達作り
- 小さな公民館
- 車移動
- 見守り
- 文化
- 個性に合う場に住む
- マニュアル
- 区長や委員などのシステム
- 近所の方との接し方

### 文化・教育

- 心の結びつき
- 東京と変わらないレベル
- 自然の中の教育
- 高度な教育の不足



## グループ1の発表要旨



- （発表者の方は）結婚して沼田市に来て、友達や先輩方が、住み続けたいと思っても引っ越して行ってしまうことが悩みだった。今回、沼田市が色々なことをやっていることを知り、また、移住者の方が楽しそうで、良いことをたくさん聞いたので心が温かくなった。
- 本当においしいものがあることや、温かい人間関係があること、本物の自然、温泉があることなどたくさん良い意見が出た。しかし、このまま住み続けられないと不安に思うことがある。
- 不安点は、医療と教育。教育は、子どもを育てるときに大事なことだが、それだけでなく、大人になっても文化がないと寂しい。中途半端なものではなく一流の文化がほしい。一流の病院、大学を招くということを本気でやってもらいたい。生活に直結する人を連れてきてほしい。大病院の先生が来れば看護師も来る。そうすれば子どもも来るので、高齢者が教育を全面的に援助したい。
- 運転ができないと暮らしていけない。ネットでタクシーを呼べたらどうか。また、タクシー券があったらどうか。しかし、これから考えると、若い人はITでも何でも使いこなせるから、私たち（発表者の方）の世代とは未来を考えると少し違いそうである。そう考えて交通手段を考えていたり、沼田のマニュアルを徹底し、広めていったらどうか。
- 移住者（特に東京から来た人）にこういうことを言ったらどう思うのだろうと加減をしてしまう。しかし、もっとお付き合いをしたいと思っている人もいるので、探っていけたらと思う。



グループ2ホワイトボード全景



ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403



グループ2ホワイトボード詳細①

TERRACE NUMATA

- 交通内陸足
- 歩きやすい道路
- 空家バンク
- 家購入補助
- 工場で購入補助
- 引越し補助
- 温泉補助
- タクシー補助
- 家賃補助
- 新卒祝い
- 無辛バス
- 寒冷地手当 (灯油代)
- 移住
- 空き屋の利用
- 空き家<sup>一戸建</sup>に安く住める仕組み
- 家賃安くなる

TERRACE NUMATA

- 幅広い世代のコミュニティ
- 多様な生活受け入れ
- 沼田マニエアIV
- たまり場
- 鬼ノの発信
- 近所の下河けあいの仕組み
- だれでも広場 (流川町会) 社協
- 沼田を知らない人から沼田を知って楽しむ発信
- 年令層
- 市役所の人 スーツ着ないで (30代35)
- 前に時間0:00:03

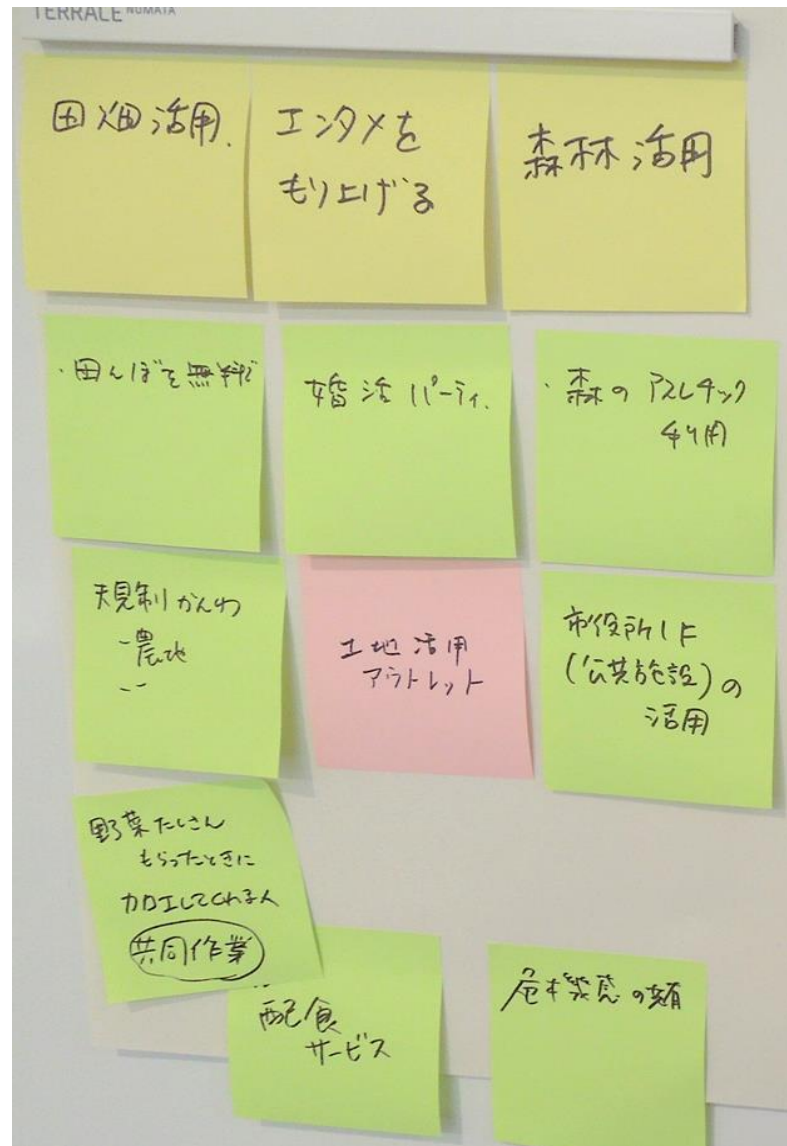
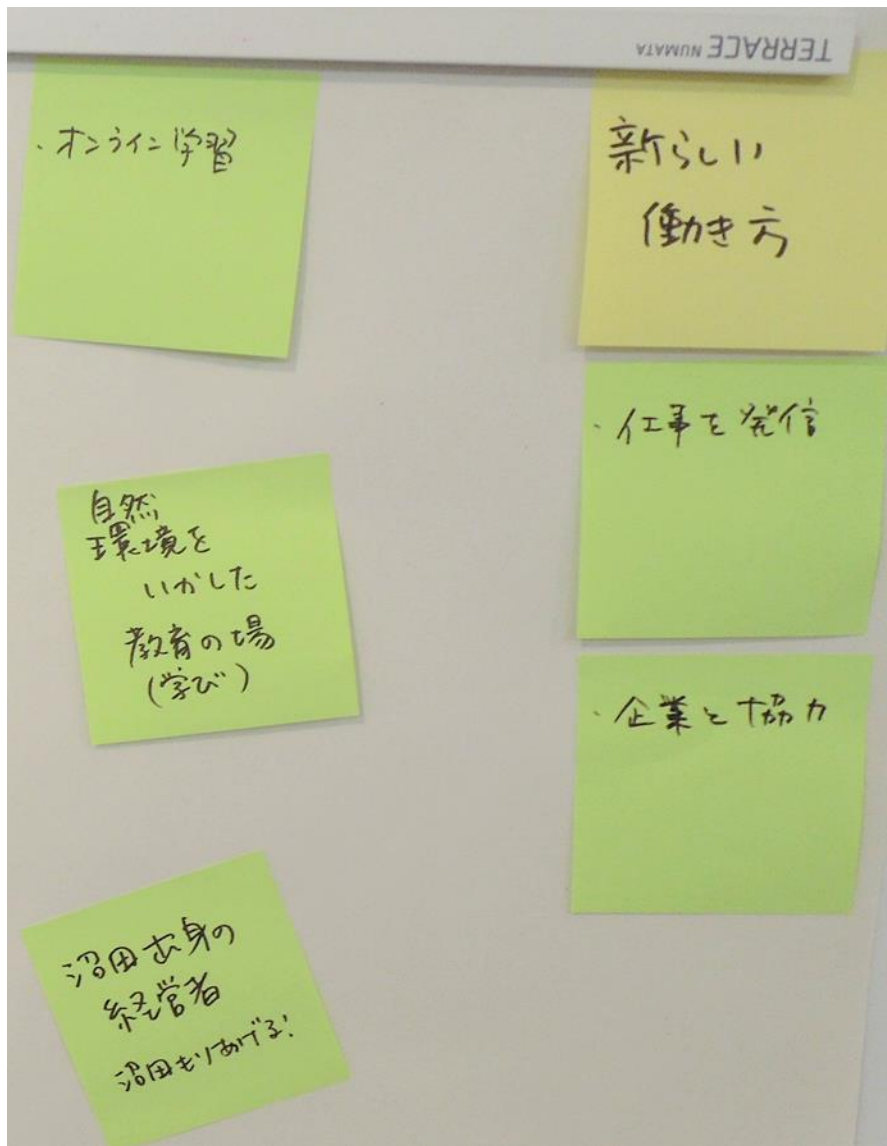


# ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403



## グループ2ホワイトボード詳細②





## グループ2のキーワード一覧

### 移住者支援

- 交通問題、足
- 歩きやすい道路
- いつでもどこでもタクシー
- 無料バス
- 様々な補助（実購入、土地購入、引越、温泉タクシー、家賃就職）
- 空き家バンク、空き家の利用
- 空き家に安く住める仕組み、家賃を安くする
- 寒冷地手当（灯油代）

### コミュニティ

- 幅広い世代のコミュニティ
- たまり場、誰でも広場
- 渋川みたいな社協
- 話に時間がかかる
- 多様性受け入れ
- 魅力の発信
- まず、住んでいる人が沼田を知り、楽しみ、発信
- 近所の助け合いの仕組み
- 沼田マニュアル
- 市役所の人スーツ着ないで

### 沼田を活かす

- 田畑、森林活用、田んぼを無料で
- エンタメを盛り上げる
- 婚活パーティ
- 森のアスレチック
- 農地の規制緩和
- 土地活用アウトレット
- 市役所1F（公共施設）の活用
- 野菜をたくさんもらったときに加工してくれる人
- 配食サービス
- 危機感の共有

### 仕事・教育の場

- オンライン学習
- 自然環境を活かした教育の場
- 新しい働き方
- 仕事を発信
- 企業と協力
- 沼田出身の経営者（沼田を盛り上げる！）



## グループ2の発表要旨

- 移住者支援、沼田を活かす、仕事・教育の場、そしてコミュニティという視点から、様々なアイデアが出た。
- 移住者支援の点からは、交通政策に対する課題や居住に対する支援を充実したほうがよいとの意見があった。
- 沼田の強みである自然環境や土地の活用、さらには公共施設の有効活用を進めるべきとの意見もあった。
- 仕事・教育の面では、現在注目されているオンライン学習を活用したり、自然環境を活かした教育を行うことで移住者の獲得につながるのではないかと意見もあった。
- 人口が減っている危機感を住んでいる人が意識して、さまざまなアイデアを出していかないと、このままでは沼田がなくなってしまうということを認識しなければならない。沼田市職員だけでなく、住んでいる人が共有していかないといけない。ハード面のところでは少しセーブしていかないといけない。
- 移住者に対して沼田のマニュアルを作っていく。例えば、鍵が開いていれば、玄関のドアを開けて声をかけることがあり、移住してきた人からすれば驚くことだが、事前に知っていれば少しびっくりするぐらいになる。そういった沼田のマニュアルを作りながら支援していくのいいのではないかと。

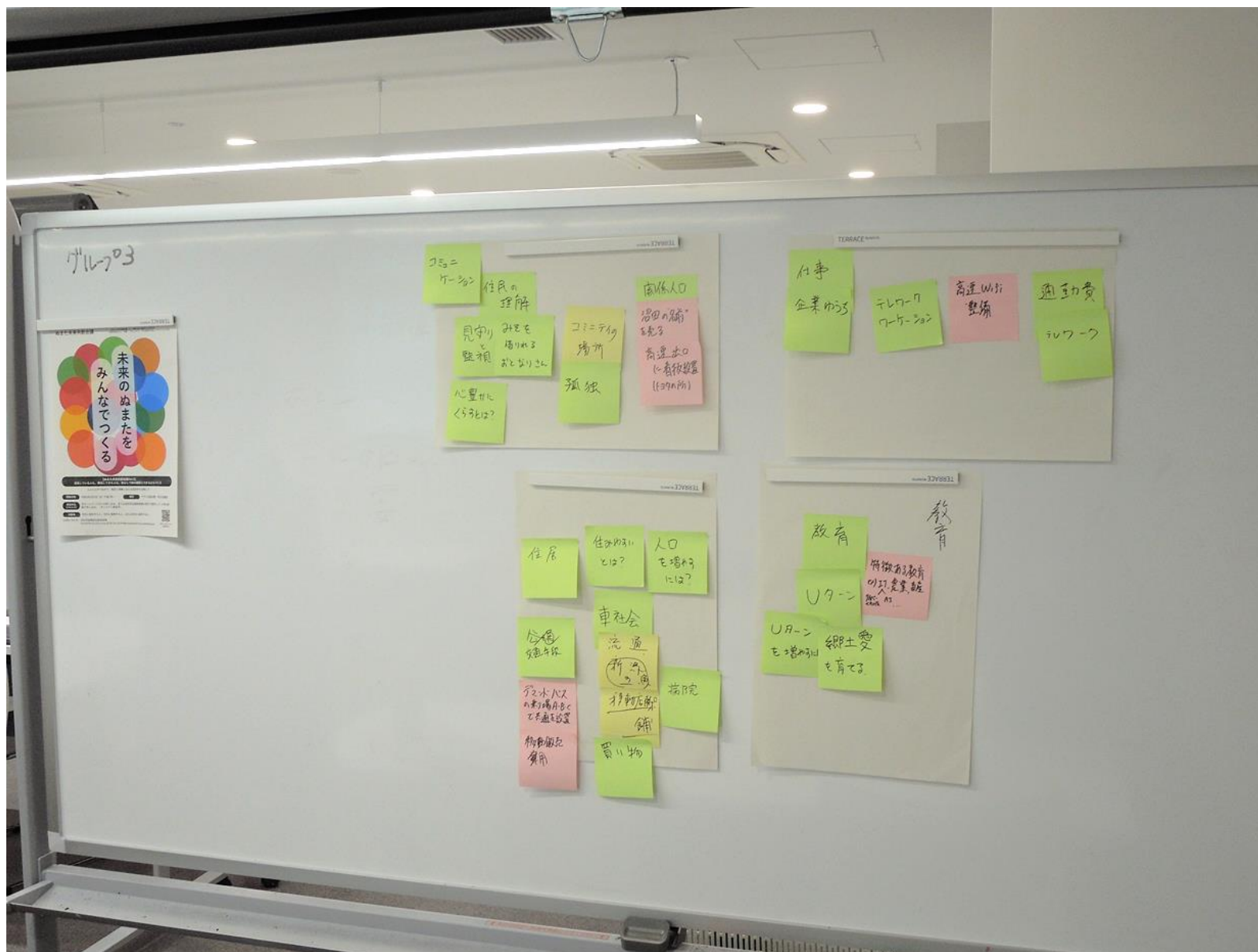


# ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403



## グループ3ホワイトボード全景



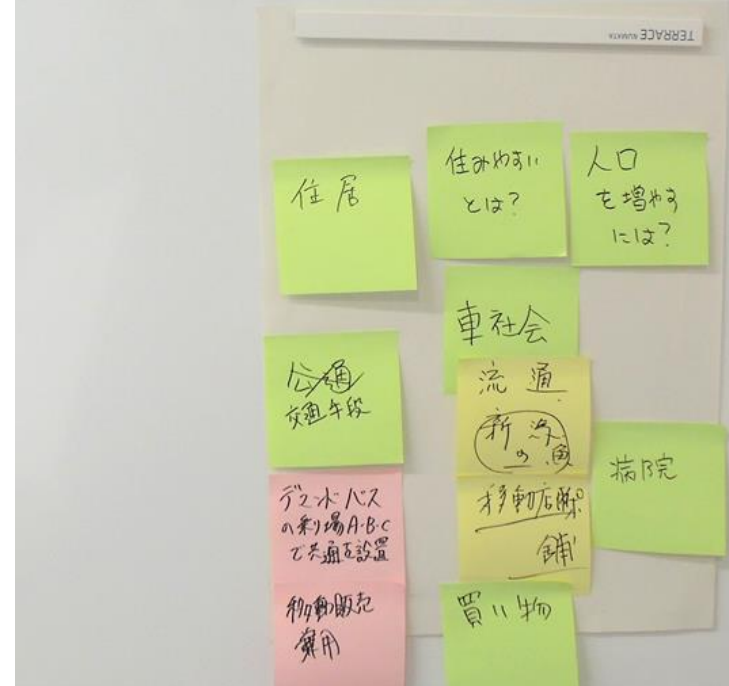
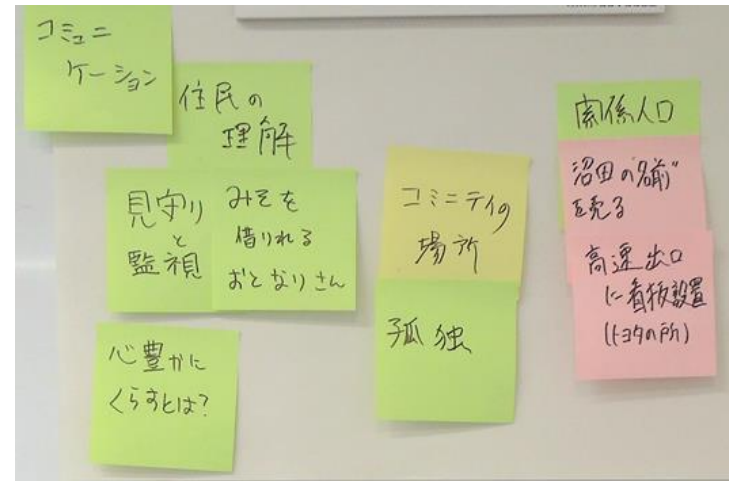
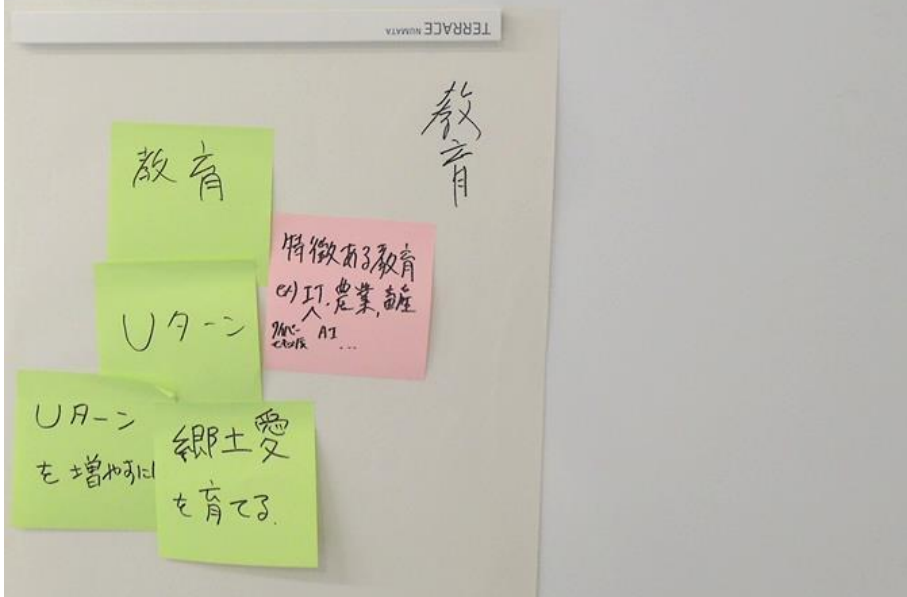
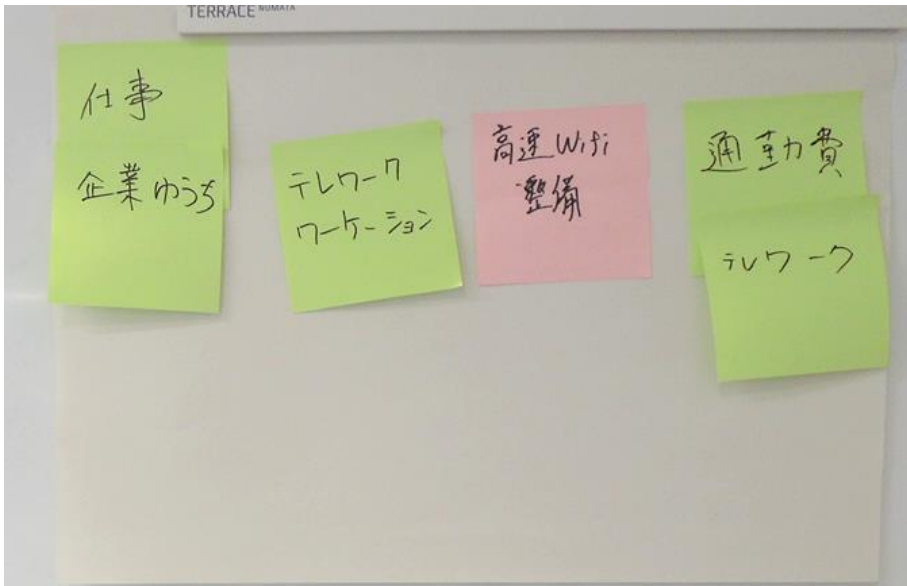


ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403



グループ3ホワイトボード詳細





## グループ3のキーワード一覧

### コミュニケーション

- 住民の理解
- 見守りと監視
- 味噌を借りれるおとなりさん
- コミュニティの場所
- 孤独
- 関係人口
- 沼田の名前を売る
- 高速出口に看板設置（沼田のアピール）
- 心豊かにくらすとは

### 住み続けるために

- 住みやすいとは？
- 住居
- 人口を増やすには？
- 車社会、交通手段
- デマンドバス
- 移動販売とバスを兼用
- 移動店舗
- 買い物
- 病院

### 仕事

- 企業誘致
- テレワーク、ワーケーション
- 高速wifi整備
- 通勤費
- テレワーク

### 教育

- 特徴ある教育
- Uターンを増やす
- 郷土愛を育てる



### グループ3の発表要旨



- （発表者は移住支援員）私は、各町のガイドブックのようなものを作ろうとっていて、移住者への教育の第一歩になればよいと思う。また、移住者がより関りを求めている点について、移住コンシェルジュや支援員を通して、移住者のお隣さんにご紹介等すれば、第一歩として大きな壁が崩れるのではないかなと思う。
- このグループでは、それぞれが色々な仕事や身分にあるということを活かして、教育、企業誘致、関係人口やコミュニティの増加、人口を増やすということについて議論した。教育は、幼稚園児や保育園児、大学生、高校生という二つに焦点を当てた。まず、前者は、東京都内だと自然に触れる機会が少ない。子供を自然に触れさせて育てられるという魅力的な環境を発信すべき。沼田に家族ごと来てもらうきっかけにする。家族というコミュニティがあるのですぐ住みやすい環境になる。高校や大学生については、一番の教育を目指すということで、何か特徴ある教育、例えばITまたは農業・畜産等、特徴ある教育を行うことで、市外の高校生からも興味を持ってもらう。尾瀬高校は、特徴ある教育を行っているという点で、そういう点を深めていくも重要。
- 企業誘致に関して、群馬県は地震も少なく、利根沼田地域は豊富な水にも恵まれているので、半導体産業など、さまざまな工場の誘致ができると思う。会社ごと移住になれば、住みやすい環境が生まれるのではないかなという意見が出た。
- コミュニティに関しては、過疎が進み緩和が生まれにくい地域もあるが、地域ごとのコミュニティがあれば違うと思う。例えば、薄根地域では棚田を活用した活動で定期的な集会があって、その中で会話も生まれてるができない地域もある。そうした問題を解決すべく模索していかなければならない。また、車に乗れなくなると、一番に困るのが、生活で食べ物を買に行けないこと。若者なら、インターネットで通販など代替手段を探せるが、高齢者は難しくなる。デマンドバスに移動販売車の機能を付与させる等の意見が出た。
- 利根沼田は、勝手に玄関の扉を開けてしまうぐらいお隣さんと仲がいいところだが、本グループでは、味噌を借りられるお隣さんという意見が出た。これを見守りとするか監視とするかという問題もあるが、古き良き日本的なところを大事にされたい方が移住されるのが、沼田市としては望むべき方向性だと思う。また、関係人口の増加に関して、私自身、沼田市の名前を知ったのが片品村の丸沼高原スキー場のアルバイト後だった。沼田ICを降りても、どこかわからない。ICを降りて目に付くところに沼田の名前を掲げた看板等設置したらよいのではないかな。





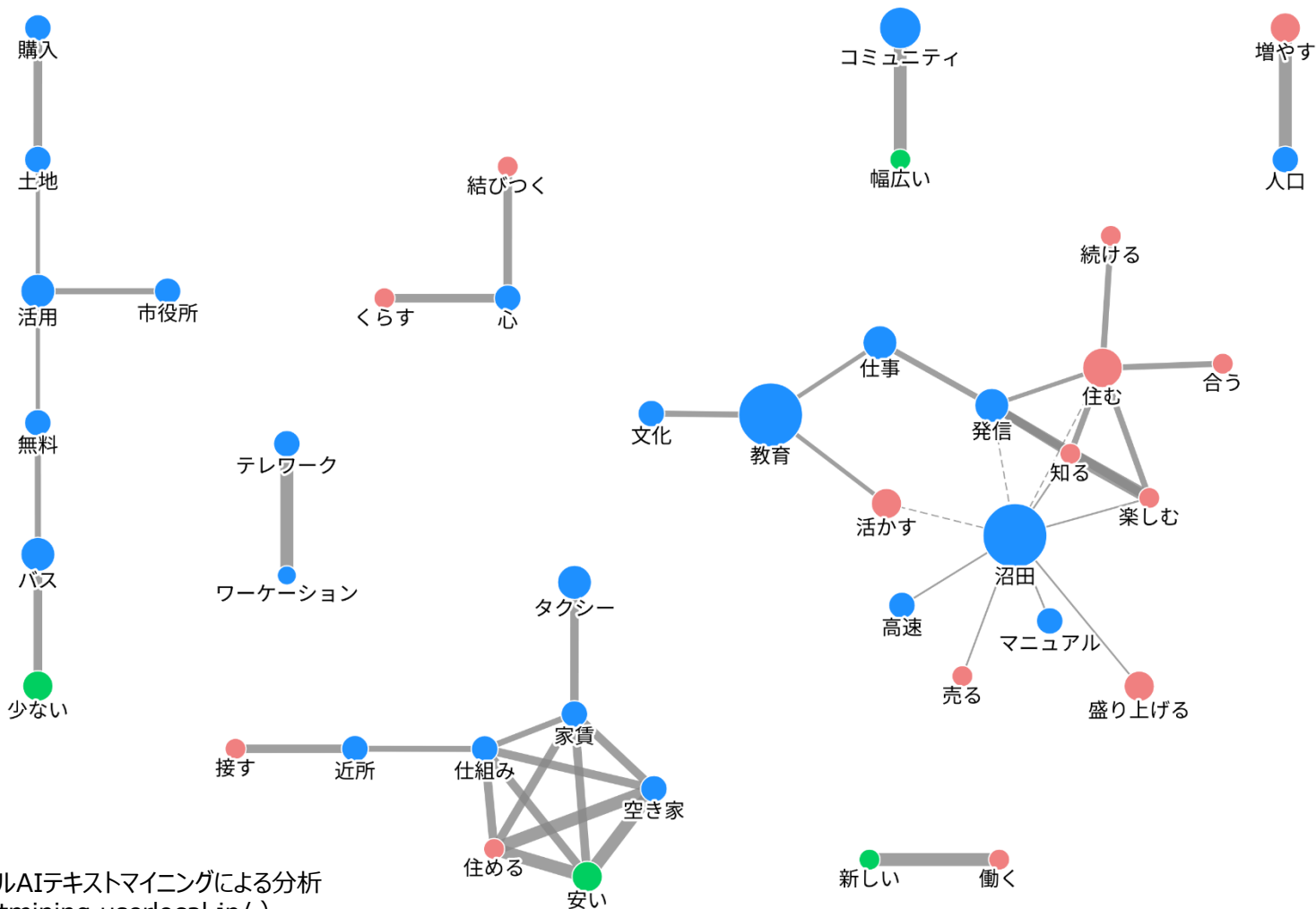
# ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403



## 発表要旨の共起キーワード

共起とは、一文（改行や「。」などで区切られた各文）の中に、単語のセットが同時に出現するという意味です。共起回数は、一緒に出現した回数を指します。共起キーワードは、全班の発表に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図で、出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析  
( <https://textmining.userlocal.jp/> )

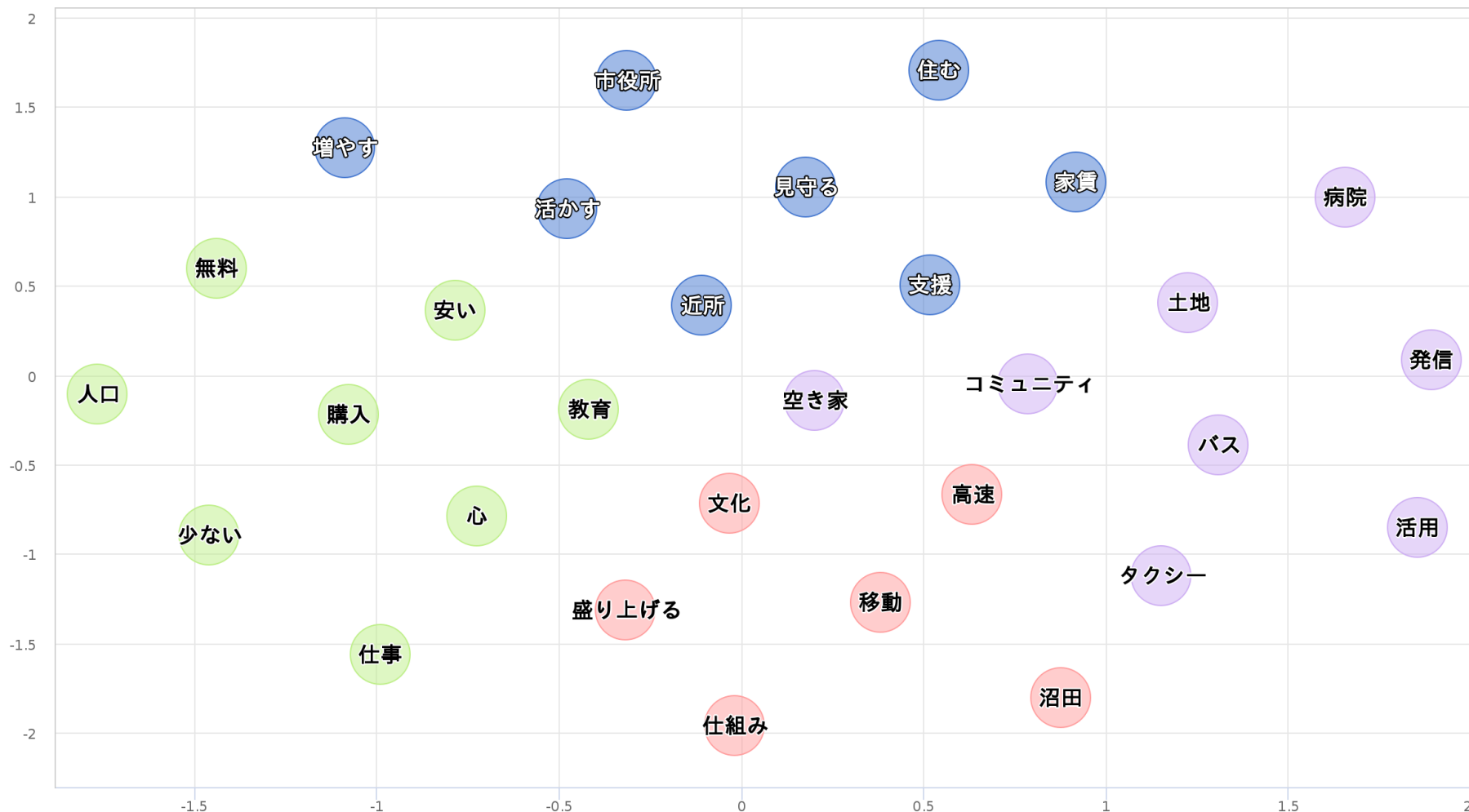
# ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403



## 発表要旨の2次元マップ

2次元マップは、全員の発表の単語の出現傾向を全体的に俯瞰するためのもので、「近くにある単語同士は同じ場所に出てくる傾向が強い」ということを意味しています。（単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く配置）



※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析  
( <https://textmining.userlocal.jp/> )



## チャット型AIによる解決策提案

チャット型AIに対して「今回の議論を踏まえて解決策を提案してほしい」と指示したところ、次のような回答が得られました。

地域を盛り上げるためには、以下のような解決策が考えられます。

### 1. コミュニティの形成

地域に住んでいる人と移住者との交流を促し、コミュニティを形成することが重要です。地域に根付いたレストランやイベントなどに参加する場を提供することで、地域に住む人々の交流が深まり、移住者も地域に根ざした暮らしを送ることができるようになります。

### 2. 働き方改革の支援

現代は、テレワークやフレックスタイムなど働き方が多様化しています。地域での生活を送りたいと思っている人々に、地域での仕事やリモートワークの支援など、働き方改革の取り組みを進めることで、彼らが地域に住み続けることができるようになるでしょう。

### 3. 魅力ある環境整備

地域の魅力的な自然環境や文化遺産を活かした観光資源や、教育、医療など生活に必要なインフラ整備を行なうことが、移住者の地域への興味を引くために必要です。対象となる地域の特徴や個性を生かした、エコツーリズムやグルメツーリズムなどの取り組みも考慮していく必要があるでしょう。

これらの解決策を組み合わせることで、地域に定住したいという人々だけでなく、移住者にも魅力ある地域づくりを実現することができるでしょう。

## ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403

### 記録写真：グループワーク・発表の様子①





# ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403

## 記録写真：グループワーク・発表の様子②



# ぬまた未来共創会議Vol.3 定住している人も、移住してきた人も、安心して終の棲家とできるまちづくり

日時：令和5年4月5日（水）午後7時～8時40分 場所：防災会議室402・403

## 記録写真：沼田市長挨拶・所感







## 会議記録：市長所感

- 昨年の5月から市長に就任し、現在沼田市が壁に当たっているところを皆さんがほとんど言い当てていらしゃった。この一年間、課題だと思い、危機感を持っていたのが、人口減少であり、市民の方も思っている。役所の中でも共有している。その中で、私が一番恐れていたのが、人口の減り方が普通ではないこと。その中で、若い人たちが住み、子供を育て、働く場所が必要。
- 先ほど隣の方が勝手に入ってくるという話があったが、そういう社会でみんな仲が良かったが、コミュニティが壊れていると思う。昔の古き良き時代の社会ではない。それを再構築しないとだめだという危機感がある。沼田市は18ヶ町の沼田町と6つの村が合併してできたまち。今、旧村のところから地域自治の組織を作り上げようということで、昔の古き良き時代の助け合いの精神をもう一度復活させる。例えば薄根地区は16町あり、その大きなくりで、みんなで助け合える、協力し合える社会づくりをやっている。これから町に入っていく。来年の4月から地域協議会制度というものを飛騨高山を参考にして導入し、形を作り皆さんに参加いただいて、皆さんのご意見を吸い上げていくということで動いている。
- 現在、お子さんたちに働く場所がないということで、18haの産業団地を造ろうと努力している。2月に地権者全員の同意が得られた。昨日、群馬県の企業局の幹部とお会いして、是非この事業を進めてもらいたいということで動き出す。令和5年度はかなり前進を見るのではないかな。
- 水がある地域ということで例えばIT関連の企業や、半導体の企業等が来てくれればありがたい。利根沼田地域が総合的に生きていくために必要なのは環境政策であり、環境に関連する企業との連携というのも必要になるかもしれない。そういう可能性を追い求めている。
- 大きな部分の流れを申し上げているが、ソフト面で一つの事業を進める際に細部に気配りがないと充実していかないと感じた。担当者から、この会議は様々な課題が出て、また皆さんにご相談することがある、またそういう会議にしていくと説明があった。皆さんのご提案を具体的にどうやって進めるかという話になっていくと思うので、本日のご提案を一度受け止めさせていただいて、各課でどういう取入れができて、政策を進めていくかを内部でよく検討させていただきたい。また当局での取り組みをご報告し、再度お知恵をお借りする場面があるかと思うが、皆さまのご意見をしっかり受け止めさせていただき、御礼の言葉にさせていただきます。本日はありがとうございました。

